



若き心

集まるどころ 11月 (NO9)

茅ヶ崎市立鶴が台中学校校長 山口 茂

令和3年11月1日

校内合唱コンクールが行われました

10月28日(木)に茅ヶ崎市民文化会館で校内合唱コンクールを開催することができました。昨年度は開催できませんでしたので、2年ぶりの開催です。

秋晴れの中、予定通りの時間に開会式を始めることができました。実行委員長の菊地さん(3-3)の話に続き、私の話があり、諸注意と続きます。開会式の最後には横川先生のリードで校歌斉唱がありました。横川先生はステージに上がるなり「ハイ背伸びをします。次は、腕をまわします。最初にクロール、次は背泳ぎ…」“あれ、体操の時間？校歌斉唱じゃなかったの”と思った生徒もいたのではないのでしょうか。

十分に体を動かしてリラックスした後、全員で校歌斉唱です。そんな、和やかなムードで合唱コンクールがスタートしました。

1年生の部

1年1組 自由曲「道」

クラスが1つになり、きれいな歌声で合唱していました。

1年3組 自由曲「君の笑顔が好きだから」

しっかり強弱がつけられ、メリハリのある合唱でした。

1年2組 自由曲「郷愁歌」

唯一のアカペラ(ピアノ伴奏無し)の合唱でした。音程がよくとれ美しいハーモニーでした。

1年4組 自由曲「Forever」

とても元気がよく、1年生らしい歌声でした。

感想:どのクラスも一生懸命に歌っていて、“がんばれ!”と応援したくなるような合唱ばかりで、元気をもらえたような気がします。

2年生の部

2年3組 自由曲「絆」

美しいハーモニーがとても印象に残る合唱でした。サビの部分への盛り上げ方が上手でした。

2年1組 自由曲「千年樹の夢」

細かい言葉を丁寧に発音していて、曲の持っている力強いイメージが伝わってくる合唱でした。

2年2組 自由曲「COSMOS」

丁寧に音とりをしてきたことが感じられました。優しい曲調を上手に表現できていました。

2年4組 自由曲「君の隣にいたいから」

それぞれのパートがしっかり自分の声部を歌っていて、バランスの良い和音が響いていました。

感想:1年生に比べると、曲も難しくなり男性の低音もきれいに響かせることができるようになっていて、合唱としての完成度は高くなっていました。来年の合唱が楽しみになりました。

3年生の部

3年2組 自由曲「空駆ける天馬」

スピード感のある出だしは元気よく、途中のゆっくりした部分は丁寧に歌い分けていました。秋の夜空をモチーフにした曲のイメージをしっかりと表現できていました。

3年3組 自由曲「手紙 - 拝啓 十五の君へ -」

何年か前のNHK合唱コンクールの課題曲です。難しい曲ですが、しっかりパート練習もできていてきれいにまとめられていました。歌詞を十分に読み込んでいて、いろいろな歌い方を使い分けその内容を伝えようとしていました。

3年4組 自由曲「あなたへ」

ソプラノが高い音を響きのあるきれいな歌声で歌っていました。サビの部分を力強く歌い上げ、聞いている人に訴えかけてくるものがありました。

3年4組 自由曲「青い鳥」

曲のイメージをドラマティックに表現していました。フォルテの部分だけでなく弱く歌う部分でも歌詞がはっきり伝わってきました。一つ一つの言葉を丁寧に歌う練習をしてきたことがわかる合唱でした。

感想：3年生の合唱は、どのクラスも迫力があり、細かなところまで気を遣っている素晴らしい合唱でした。1・2年生の前で、本当に素晴らしい合唱を披露してくれて、鶴が台中学校の合唱コンクールに新しい1ページを加えてくれました。

結果：

1年生の部	最優秀	2組	優秀	1組	
2年生の部	最優秀	1組	優秀	2組	
3年生の部	最優秀	1組	優秀	3組	でした。

合唱のほかにも感動したことが2つあります。

1つ目は、実行委員の武内さんの話です。

出番があったので、開会式の時にステージ袖にいました。実行委員の生徒も何人かいて、武内さんもその中の一人でした。武内さんは、開会式が始まる時に文化会館のスタッフの人に「今日は、いろいろお世話になって、ありがとうございます」とあいさつをしました。“陰で私たちの合唱コンクールを支えてくださっていた文化会館のスタッフの方に、きちんと挨拶ができお礼を言うことができる生徒が台中にはいるんだ”と思い、うれしくなりました。

2つ目は、2年1組の大坪さんのコメントの内容です。

曲の紹介が終わり、コメントの最後で「今日、このステージの上で一緒に歌うことができなかつたクラスの仲間の分まで一生懸命歌います」としめくくりました。“39人、一人も欠くことができない大切な2年1組の仲間”そんな温かな気持ちが伝わってきたコメントでした。

最後に

受付や保護者の誘導、舞台の片づけと1日お手伝いして下さった保護者会の役員の皆様、ありがとうございました。職員だけでは、合唱コンクールはできませんでした。皆さまのご協力のおかげで、無事合唱コンクールを開催することができました。本当にありがとうございました。

また、新型コロナウイルスの関係で、各ご家庭1名までの観覧とさせていただきました。皆様にご協力いただき、スムーズに合唱コンクールを開催することができました。ご協力ありがとうございました。1日も早く、このような制限のない形で保護者の皆様に参観していただける日が来ることを願っています。

10月の部活動等の結果【30日・31日の大会の結果は、12月号で紹介します。】

陸上競技部

9日(土)に柳島陸上競技場で第50回茅ヶ崎地区中学校駅伝競走大会が行われました。鶴が台中学校は、女子の部に出場し、50分45秒で第6位に入賞しました。

第1区(3000m) 中野花楓さん

第2区(2000m) 長谷川琳音さん

第3区(2000m) 佐藤夏綺さん

第4区(2000m) 守泉七夢さん

第5区(3000m) 山田椰々美さん

野球部

23日(土)に萩園中学校で萩園中と対戦し5-0で快勝しました。同じ日に梅田中学校とも対戦し、6-1で快勝して、準決勝に勝ち進んでいます。

サッカー部

23日(土)に本校のグラウンドで旭が丘中と対戦しました。夏休み中に練習してきた「ブロックをつくっての守備」で旭が丘中学校の猛攻を延長戦まで守り切り0-0でPK戦にもつれ込みました。結果は3-5で惜しくも敗れてしまいました。

ソフトボール部

部員数の関係で梅田中学校との合同チームで出場しました。23日(土)に梅田中学校で行われた初戦は、松林中に見事勝利しました。次に行われた第一中との戦いと、24日(日)に行われた北陽中との対戦には敗れてしまいましたが、合同チームで見事3位になりました。

男子ソフトテニス部

秋季地区ソフトテニス大会が行われました。23日(土)に松林中中学校で行われた個人戦では、藤川さん・新井さんのペアがベスト16に入り湘南大会に出場します。また、24日(日)に円蔵中学校で行われた団体戦は、残念ながら予選リーグで敗退してしまいました。

女子ソフトテニス部

秋季地区ソフトテニス大会が行われました。23日(土)に西浜中学校で行われた個人戦では、新沼さん・川喜多さんのペアが3位、関屋さん・星さんのペアが5位になり湘南大会に出場です。24日(日)には、寒川東中学校で団体戦が行われ、見事地区優勝を勝ち取りました。団体戦のメンバーは関屋さん・浦田さん・小川さん・新沼さん・川喜多さん・星さん・飯田さんでした。

男子バスケットボール部

23日(土)に松林中中学校の体育館で秋季大会が行われました。西浜中には勝利したものの鶴嶺中と寒川中に敗れてしまい、決勝トーナメントに出場することはできませんでした。

女子バスケットボール部

23日(土)に梅田中学校で秋季大会が行われました。予選リーグで、寒川東中と梅田中に敗戦し決勝トーナメント出場はかないませんでした。北陽中には26-16で競り勝ち一矢報いることができました。

女子バレーボール部

24日(日)に本校の体育館で大会が行われました。4校のリーグ戦が行われ、円蔵中、旭が丘中、第一中と対戦し、善戦しましたが3試合とも負けてしまいました。

卓球部

16日(土)に茅ヶ崎市の総合体育館で茅ヶ崎卓球大会中学生の部が行われました。

男子団体戦の予選リーグでは、北陽中に0-3で、浜須賀中に2-3で敗れてしまいました。決勝トーナメントでは、旭が丘中に3-2で勝利しましたが、続く萩園中戦は2-3で負けてしまい、ベスト8でした。

女子団体戦の予選リーグでは、第一中に3-1で勝ち、円蔵中に0-3で負けて、決勝トーナメントを迎えました。決勝トーナメントでは、松林中に3-0で勝つものの、優勝候補の寒川東中に0-3で敗れてしまいました。5位決めのトーナメント戦では中島中に1-3で負けてしまい、地区ベスト8でした。

24日(日)に男子は第一中学校で、女子は寒川東中学校で個人戦が行われました。

2年男子では、小池さんが7位、田中さんがベスト16、伊藤さんがベスト32になり湘南大会に出場します。1年男子では、中野さん・菊地さん・境田さんがベスト16に入り、同じく湘南大会に出場します。

2年女子では、勝俣さんがベスト16、小倉さん・大坪さん・松原さんがベスト32になり湘南大会に駒をすすめました。また、1年女子では、高塚さんが6位、岩本さんが7位、岸さんがベスト16となり同じく湘南大会に出場します。

令和3年度読書感想文コンクール

若月愛奈さん・八木澤稀那さん・大坪柚音さんの感想文が入選しました。

第50回茅ヶ崎市小学校中学校創意工夫・研究作品展

岩城桃花さんと丸山飛燕さんの作品が創意工夫作品部門で銀賞を受賞し、飯島愛琴さん・小坂圭一郎さん・花井きららさんの作品が研究作品部門で努力賞を受賞しました。

ちょっといい話

以前読んだ本で『世の中に雑用はない』という話に出会いました。内容はこのようなものでした。

アメリカに本社がある外資系の会社があります。月に1回くらいの割合で、本社の担当者が来日し、東京の支社と大阪の支社を回って仕事をします。彼は、羽田空港に着くと、まず東京支社で仕事を片づけます。そして、総務部にいき予約しておいてもらった新幹線のチケットを受け取り、大急ぎで大阪支社に向かいます。

大阪支社での仕事も終え、東京に戻る新幹線の中で、少し時間ができました。その時、夕日に染められた美しい富士山が目に飛び込んできました。“そういえば、大阪に向かうときにも富士山が見えていたような気がする”そんなふうに思った彼は、東京支社に戻りチケットを予約してくれた社員に話しかけました。

話しかけられた社員は「せっかく日本にいらしていただいたのだから、富士山がよく見えるように、往きは右側、帰りは左側の窓側の席をとりました。それから、長距離のフライトでお疲れだろうから、ドアのそばではゆっくりできないと思い、車両の真ん中あたりの席をとっておきました。」とこたえました。

『新幹線のチケットをとる』という仕事は、たぶん誰でもできる、いわゆる『雑用』なのかもしれません。でもこの社員は、チケットを予約するときに、乗車する人のことを考え最良の席を選びました。

この本を書いた人は次のように話をまとめていました。

“世の中に『雑用』なんてない。与えられた仕事を、その人が雑に扱った瞬間に、その仕事が『雑用』になってしまうのです。”